

わんぱくフェスティバルのお礼

16日のわんぱくフェスティバルにご参加ありがとうございました。天気にも恵まれて、子ども達が生き生きと頑張る姿を見ていただけたようで、本当に良かったです。日ごろの遊びの様子を、職員が楽しいプログラムにしてくれて、保護者の皆さんにご披露したところです。

子ども達の走る姿を見て、改めてかっこいい走り方だなあと感じました。体幹がしっかりしているというか・・・カーブも多い園庭を走ったのですが、全速力で走っても身体がぶれないというか・・・これまでの遊びの成果がしっかりと出ていたような感じがします。お友達を追い越したりするときの駆け引きや、「負けない！」という真剣な姿にも感動したところです。

園長挨拶の中で「やる気スイッチ」の話をさせていただきましたが、子ども達自身、保護者様、お客様の前で自分の得意な競技を披露できたということが自信につながっていくと思います。これをきっかけにまた一つ大きな成長を見せてくれます。そして、新しい「やる気スイッチ」が押されることでしょう。

お笑い芸人が司会を務める某テレビの「博士ちゃん」という番組を見ることがあります。電車、世界遺産、昔の家電、信号機・・・自分の関心あることをとことん見たり、聞いたり、調べたり・・・興味のあることを楽しく、深く学んでいる番組です。子ども達の表情を見てみると本当に生き生きとして、大人もかなわない情報量と知識、それに関して自分の意見をはっきりいえる姿には感動すら覚えます。「好きこそもの上手なれ！」と昔のことわざにもあるように、好きなものを学ぶことには限界がないようです。将棋の藤井聡太君が卒業まじかの高校を中退してまで、大好きな将棋の道を選びました。好きな物、やりたいことがあるって本当にステキなことだと思います。「大きくなったら何になりたい?」「何が好き?」と聞くと答えられず「とりあえず高校に・・・」「とりあえず大学に・・・」就活になると大変な日々にかけて(?)「とりあえず大学院に!」とやりたいこと、好きなことを探す果てしない旅に行く若者をたくさん見てきました。(全員とは言いませんが・・・)それは、これまで受けてきた「学力重視」の教育が原因なのではないか?と思います。目の前の漢字が書けて、計算ができて、テストの点数が稼げて成績が良かったらそれでおしまい。いい点数をとることに子どもも親も(学校の先生も)一生懸命になりすぎてその先を見ていないような感じもします。(と言う私自身、子育ての時は塾に通わせ、勉強、勉強!と子どもの尻を叩いてきましたが・・・) (- “” -))でも社会はそう甘くはありません。いくら東大を卒業したからと言って社会で通用しないということもたくさんあります。「学校の成績=社会で成功する」は現代には通用しにくくなっているような気がします。

これからの時代、何が必要になってくるのかな?と考えたときに、人とうまくかかわっていけるコミュニケーション能力、自分は自分でいいんだという自己肯定感、やさしさ、思いやり、そして冒険心が土台にある子どもは強いと個人的に思います。

私たち保育士は子ども達が自分の人生を「何となく生きていく」のではなく「自分の好きなこと、やりたいことを知ってわくわくした人生を送れる」ように応援していきたいと思います。

子ども達がこれからどんな「やる気スイッチ」を押してくれるのか本当に楽しみです。

ウナギの放流について【再度】

*ばななさんは、朝、**縄瀬保育園**に送っていただきます。7:00から副園長が待っていますのでお願いします。

*川には必ず靴を履いてはいきますので、**替えの靴**も持たせてください。

*帰りは歩いて帰ります。

◎事務所前にサーマルカメラが付きました。朝は、桜システムを押していただくと同時に体温を計ってくださいますようお願いいたします。子どもの体温も計っていただけるといいと思います。

With コロナで行きましょう!